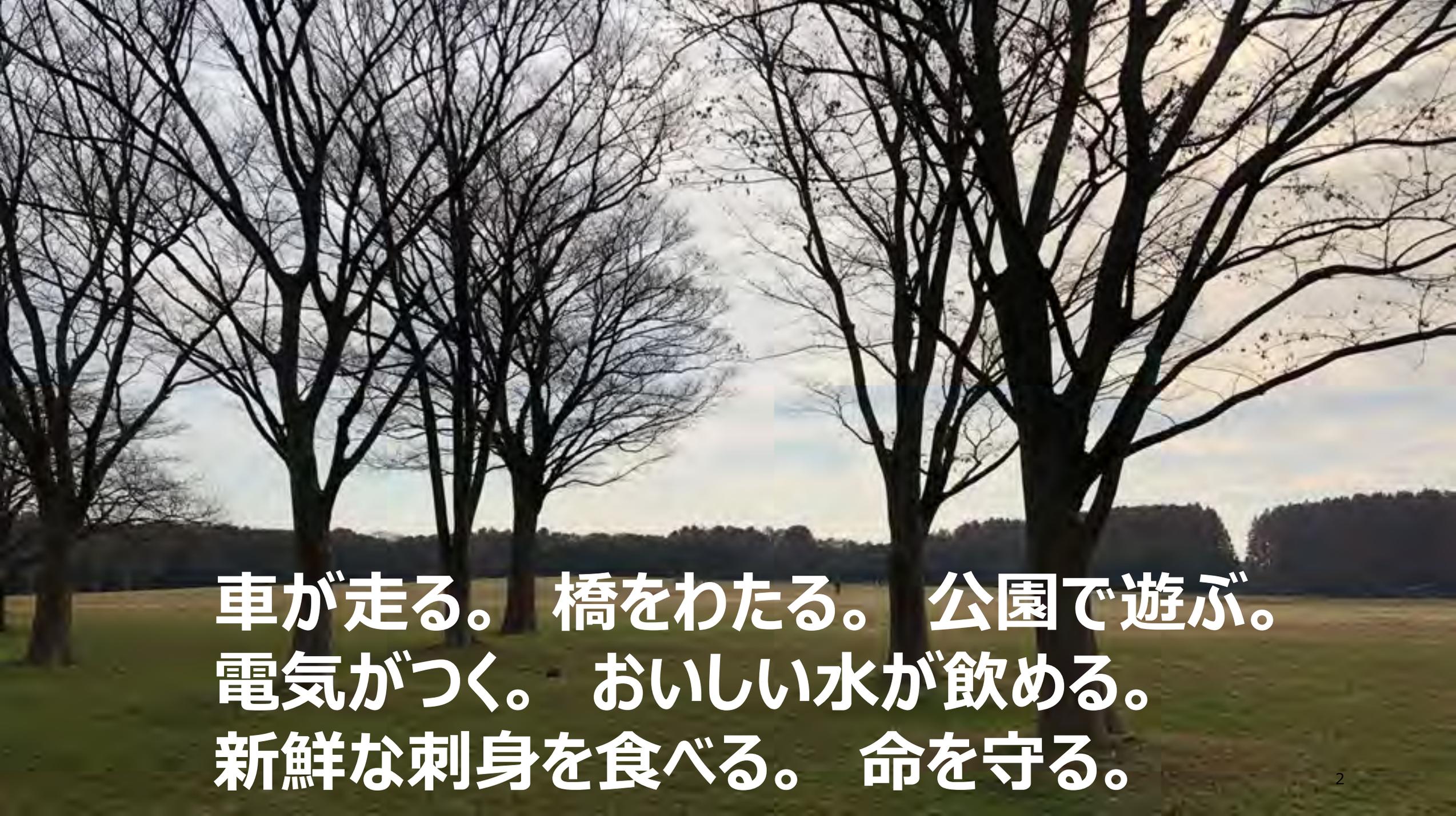


関東放送シンポジウム
「ラジオによる地域社会への貢献」

インフラバラエティの挑戦！ 「ドボクのラジオ」

2022年6月22日

株式会社建設技術研究所 松田光弘

A landscape photograph showing several bare trees in the foreground and middle ground, with a field and a line of trees in the background under a cloudy sky. The text is overlaid on the lower half of the image.

車が走る。橋をわたる。公園で遊ぶ。
電気がつく。おいしい水が飲める。
新鮮な刺身を食べる。命を守る。

東日本大震災の復旧・復興で

ドボクが果たした役割は、

ほとんど報道されなかった。なぜか？

それは○○○・・・だったから。

一方、多くの社会的課題が**ドボク**にも関連する

- ・頻発する災害
- ・インフラの老朽化
- ・エネルギー問題
- ・地球環境問題
- ・少子高齢化 ……

「伝える」から「伝わる」へ

公益社団法人 土木学会
「土木広報アクションプラン」
2013年7月31日

報道のような直接的な情報伝達ではなく、 **バラエティ**に着目

- 土木構造物は「一品特注生産」 → 地域に根ざしたものの
- 地域を知る まちを知る → 日常だけでなく、非常時にも関心を持つ
- 当初は、中央区のインフラをテーマとして想定していた

建設技術研究所、土木学会、中央エフエムの三者で
土木広報の一環として2019年5月1日に番組をスタート

番組による社会貢献①

- 市民の関心が、インフラの質を高め、結果として**市民の幸せ**につながる

ニーズの
反映

社会的
合意

防災意識

「公共」という概念の
重要性

安全・安心で
豊かな暮らし

予算

担い手

番組による社会貢献②

大人の
社会科見学

インフラ
ツーリズム

重機

- 興味の対象としての**ドボク LOVE**に応える

ダムカード

マンホール
の蓋

巨大構造物

番組による社会貢献③

- 社会を支える多くの**エンジニア**にも光を

「あのビルを設計したのは建築家の○○さん」
「あのダムを設計したのは????????」

子どもが憧れる職業に！

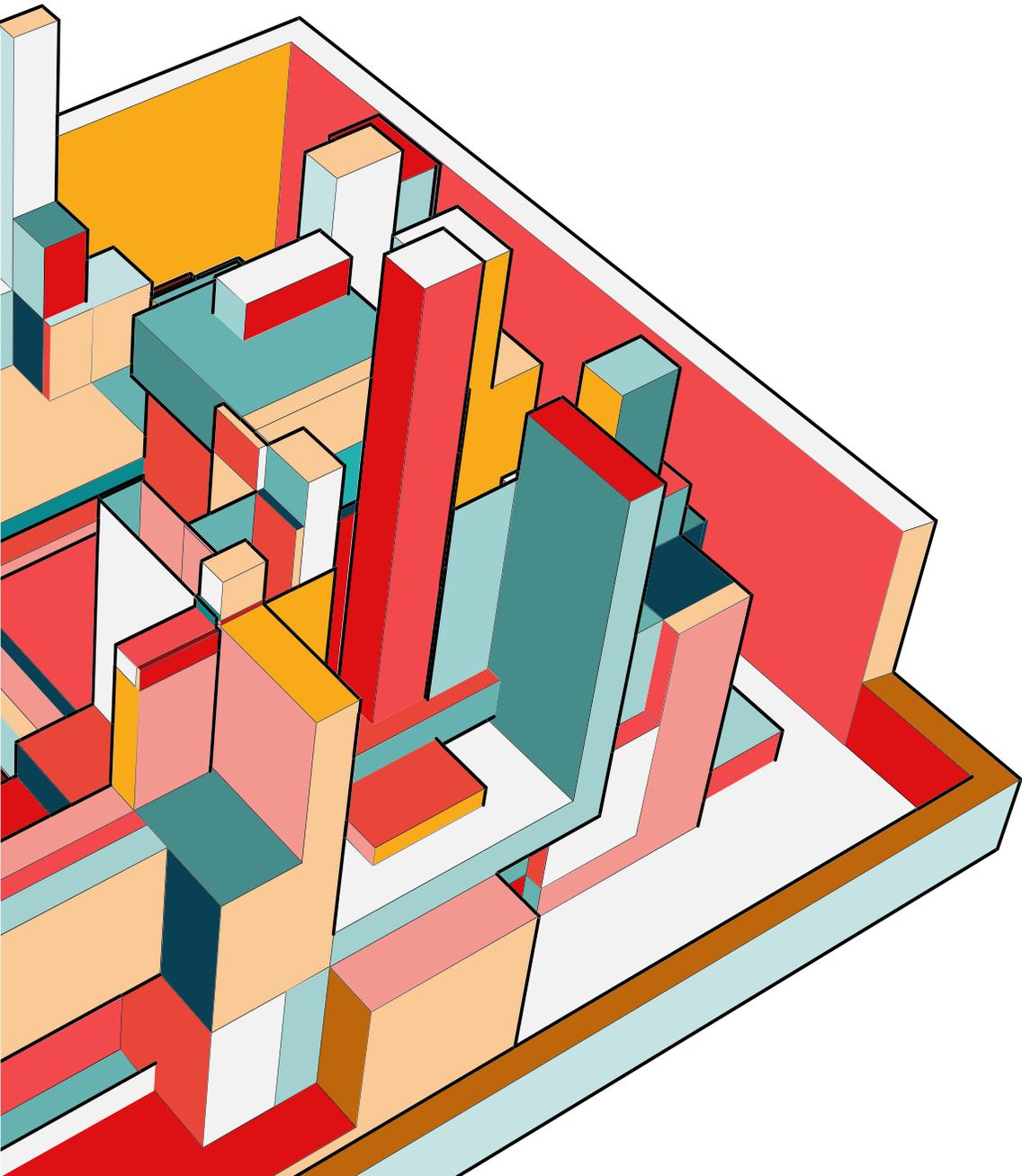
「ドボラジに出るよ／出たよ」
HPやSNS投稿に！

土木技術者

Civil Engineer

企画 調査 計画 設計
施工 維持管理 運営

自信と誇り



メディアとしての ラジオの優位性

- 1対1のコミュニケーション
- ながら聴きできる
- どこでも聴ける
- 音楽との結びつきが強く、
印象に残る



ご静聴 ありがとうございました

【番組情報】

放送局：中央エフエム（84.0MHz）

毎週水曜夜8時～（再放送：日曜正午～）

提供：土木学会、建設技術研究所、清水建設、
竹中土木、三井住友建設、理工図書

運営協力：建設物価調査会